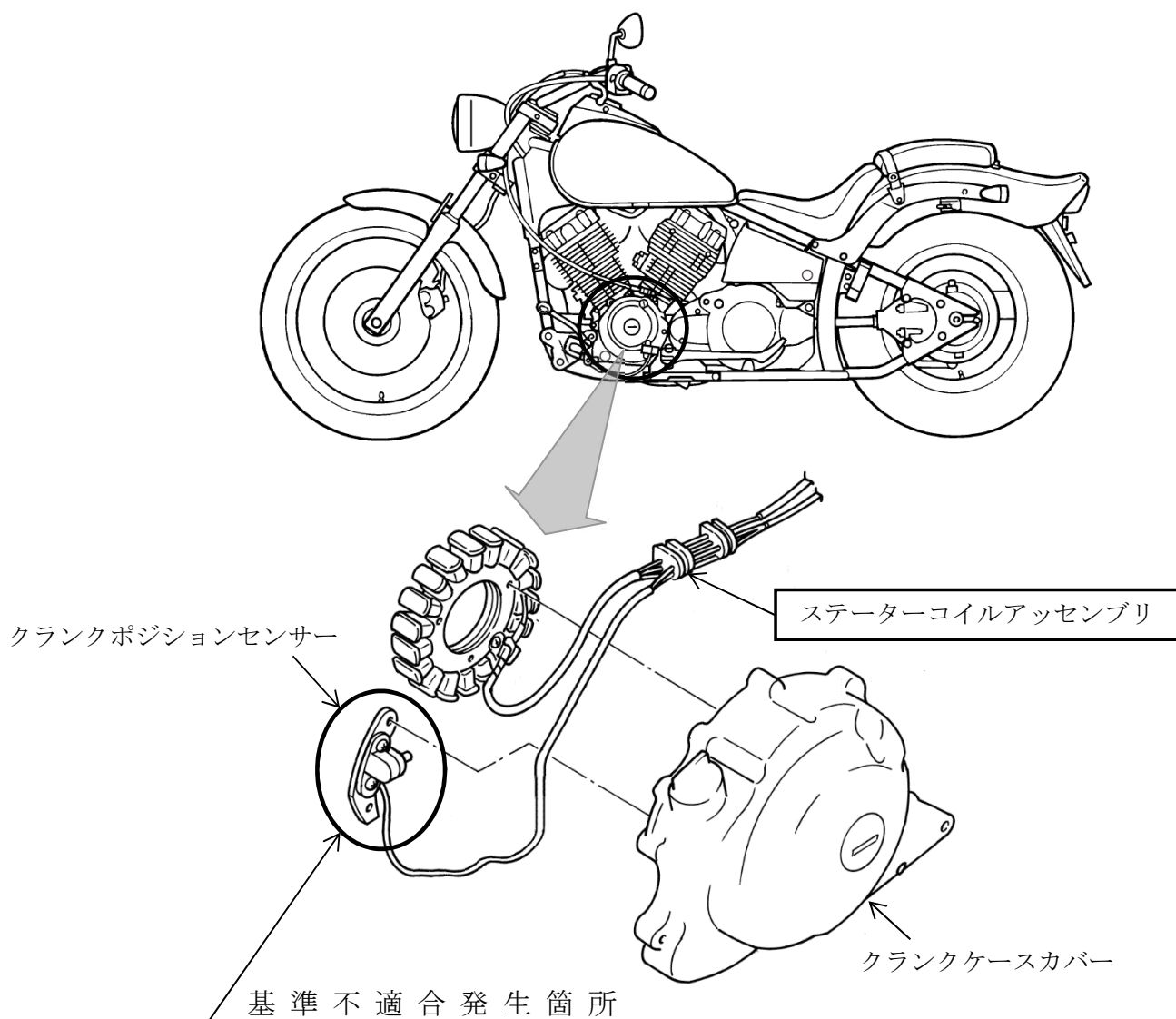


# 改善箇所説明図



原動機において、クランクポジションセンサー内部のはんだ付け部を覆う、保護材の材質が不適切なため、エンジンオイルがセンサー内部へ浸入し、銅線に付着することがある。そのため、渋滞路走行等によりセンサーが高温になると、エンジンオイル成分で銅線が腐食し、最悪の場合、銅線が断線して走行中にエンストやエンジンが始動不能となるおそれがある。

改善の内容：全車両、ステーターコイルアッセンブリを対策品と交換する。

識別：後輪ショックアブソーバ左取り付けボルトの前方付近に白ペイントを塗布する。

注：  は交換する部品を示す。